

「ひと・まち・桜が咲きほころぶ 先進のまち」を目指して

本町では、平成31年度からの11年間を計画期間とする第6次長期総合計画を策定しました。今回、平成31年1月22日から2月7日まで、町内5か所を会場に、長期総合計画の概要説明とまちづくりについての意見をうかがうための「まちづくり懇談会」を開催しました。

夜間にも関わらず多くの皆さんに足を運んでいただき、町政に対する貴重なご意見をいただきました。その主な内容をご紹介します。



1月22日(火)
南小アッセンブリホール
参加者 20人

懇談テーマ 白石川右岸河川敷整備と 地域おこし、産業振興

質問 スポーツ施設が少ないので、ゲートボールやパークゴルフなど専用の施設を作ることはいかないのか。

回答 様々な要望をいただいておりますので、検討委員会を立ち上げ、協議してまいります。

質問 上大谷の県道で、JRと並行している部分が交互通行で危険なので、拡幅してほしい。

回答 県道拡幅の件につきましては、県から今年度の調査費の予算がついたとのことでしたが、また調査は終わっていないようですので、早期に完了するように要望してまいります。

質問 これから観光に力を入れていくとのことだが、桜を中心とした柴田町との構想があってもよいのか。

いのではないかと。

回答 平成28年度から柴田町と連携して、外国人観光客増につなげる桜のブランド化事業を行っております。また、えずこホールも巻き込んで、失われつつある古来の文化を見直し、外国人のかたに何かを感じてもらおう取り組みも行っていると考えております。

質問 花見期間中の出店のようすが昔から変わらない。地に足の着いた桜の見せ方を検討してほしい。

回答 これから整備を行う上大谷の白石川右岸の桜の植樹を2列にしたり、新しい品種を増やして花を長く楽しめるようにするなど検討してまいります。合わせて、マルシェ等の開催できる多目的広場の設置など検討してまいります。

1月23日(水)
金ヶ瀬公民館
参加者 23人

懇談テーマ 公共施設(学校施設・公民館等)の 維持管理と地域コミュニティ

低差、水利施設など営農条件がまちまちです。現況調査等を行い費用対効果等を考慮した、効率の良い計画を作成し事業が実施されます。ほ場整備は農家の皆さんからの申請によって採択される仕組みですので、国・県から採択されるかは、地元が熱意が優先されます。ぜひ盛り上げていただきたいと思います。

質問 福田の町有地の有効活用を図ってほしい。整備すればイノシシの害も少なくなると思う。

回答 道路などインフラ整備に多額のお金がかかり余力がない状態です。今すぐは難しいが、大きな宿題として有効活用を考えてまいります。

2月7日(木)
役場大会議室
参加者 26人

懇談テーマ 一目千本桜の保護・活用と 街なかのにぎわい創出

質問 桜まつりの客からの苦情対策をどう考えているのか。町と商工会の話し合いがスムーズでないのか、対応がまちまち。桜をPRしていくうえで客に喜んでもらえるような対応してほしい。

回答 桜まつりは、町と商工会、観光物産協会3者による実行委員会

質問 ①交通安全のため、通学路は誰が見ても「通学路」と分かるように表示してほしい。

②ほかの地区にあるような子育て施設が金ヶ瀬にもほしい。

回答 ①通学路の表示はしておりますが、地域での見守り活動が円滑に行えるよう、考えてまいります。

②金ヶ瀬地区にも放課後児童クラブができました。また、金ヶ瀬公民館は集会所と同じように利用できますので、ぜひ活用してください。

懇談テーマ 地域ぐるみの健康増進と 地域包括ケアシステムについて

質問 認知症カフェ運営に対し部屋の賃借料や光熱水費を補助してほしい。

回答 高齢者のつどいの場に対する支援については、現在、地域包括支援センターで検討しております。

2月5日(火)
世代交流いきいきプラザ
参加者 13人

懇談テーマ 地域の安全安心(防災・内水)対策

質問 空き家を移住希望者に低額で住んでもらうなど活用を考えるとどうか。また空き家の樹木に

組織で運営されていて、取り決めはありますが、運営側の人数も多いため対応が異なる場合もあると思います。苦情への対応を共通理解できるように努力してまいります。

質問 老木が多い今の桜がいつまでもつと思うのか。50年後、100年後を考えて対策を考える必要があると思うが、危機感が足りない。桜をブランド化するなら、春だけではなく、四季を通した取り組みを積極的にやるべきと思う。

回答 樹木医による延命措置など、老木の延命化中心に行っておりますが、それでも枯れる木はあります。右岸河川敷整備のなかで、新たな桜づくり、開花時期の違う桜を植えて楽しめる時期を長くできるように検討しております。

若木もそれなりに花をつけており、新たな植樹もしながら、県の整備に併せ、右岸河川敷をにぎわいの拠点としていきたいと考えております。

質問 水害で堤防が決壊して桜に被害が出るのが心配。対策はあるのか。

回答 千年に一度の大雨を想定した防災マップを4月に全戸配付予定としております。説明会なども設け、防災につなげてまいります。

アメリカシロヒトリが繁殖していることにも目を向けてほしい。

回答 空き家対策計画を策定し、関係課が連携して取り組んでおります。空き家のデータベースを基に、来年度、所有者等に対して意向調査を行い、空き家対策につなげていきたいと考えております。

また、空き家の樹木に繁殖するアメリカシロヒトリについては、所有者等に通知を行い、駆除を行うなどの適正な管理の啓発を行ってまいります。

質問 水害時の避難場所が遠いので、近くにある民間会社を緊急時に避難場所にできないか。

回答 水害時の避難場所が遠い場所にある場合は、大雨の予報が出たら前もって避難できるような情報発信を行います。民間施設の借用等は今後検討してまいります。



質問 イノシシ被害防止として電気柵設置に補助してもらってありがたい。ほ場整備は、農家負担も大きいのでぜひ進めてほしい。

回答 既存農地は、大きさや形、高

現況の地形や地質等の調査を行い、調査結果に基づいて排水の悪いところには暗渠排水を整備するなどの計画を作成し、その後工事を進めるようになります。

2月6日(水)
橋本交流センター
参加者 30人

懇談テーマ 農地の管理とほ場整備等について

質問 防災訓練は地震に対するものだけでなく、他の災害も想定したものを検討してほしい。また、防災資機材倉庫が他の区と共用なので容量が足りない。

回答 他の災害対応や資機材倉庫についても今後検討してまいります。

質問 以前道路を整備したことから、隣接する田んぼの水はけが悪くなったところがあり、それを改善するためにお金がかかった。町ではそうした状況をどのように考えて、ほ場整備を進めるのか。

回答 ほ場整備を行う場合、最初に現況の地形や地質等の調査を行い、調査結果に基づいて排水の悪いところには暗渠排水を整備するなどの計画を作成し、その後工事を進めるようになります。

質問 イノシシ被害防止として電気柵設置に補助してもらってありがたい。ほ場整備は、農家負担も大きいのでぜひ進めてほしい。

回答 既存農地は、大きさや形、高